

2023年度 情報活用カプログラム（(基礎)含む）自己点検・評価結果報告書

京都ノートルダム女子大学教育センター

(令和6年4月22日)

1. プログラムの履修・修得状況

「情報活用カプログラム」全体（以下、「本プログラム」）は34名が履修しており、「情報活用カプログラム（基礎）」（以下、「基礎」）については2023年度に32名が修了した（情報処理士資格取得者に該当）。

本プログラム履修者内訳

	1年次	2年次	3年次	4年次
国際言語文化学部英語英文学科	0	1	2	-
国際言語文化学部国際日本文化学科	1	2	6	-
現代人間学部生活環境学科	1	4	2	-
現代人間学部心理学科	2	7	3	-
現代人間学部こども教育学科	0	2	1	-

本プログラム「基礎」修了者内訳

国際言語文化学部英語英文学科	6
国際言語文化学部国際日本文化学科	15
現代人間学部生活環境学科	1
現代人間学部心理学科	8
現代人間学部こども教育学科	2

2. 学修成果・進路状況等

「基礎」の2023年度修了生においては、プログラマー、CADオペレーターといった職種への就職が認められた。そのほか、事務職をはじめ、それぞれの分野において、本プログラムで得られた知識や技術が生かされていることを期待する。

「本プログラム」主要科目の授業評価アンケートからは、プログラミング基礎の楽しさ、実践的な取り組みに効果があったなど、前向きなコメントが多くみられる。一方で、授業内容が難しかったといった声もあり、個別フォローを充実させ対応していきたい。

3. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

当初目標40名のところ、2023年度の履修者数は、「1. プログラムの履修・修得状況」で記したとおり32名である。2024年度は、学生への周知徹底とともに社会情報課程の在

学生全員を登録させることにより、履修者を増やしていきたい。

4. 履修者の確保のための工夫等

AI・データサイエンスへの学生の興味は近年高まってきており、今後も授業内容やカリキュラムは不断に改善を図り、現代的ニーズにあったプログラムとなるよう進めていく。

「本プログラム」の周知にあたっては、新入学生対象のオリエンテーションでプログラム受講の必要性・有用性の説明のほか、『学生便覧』、ND 教育センター公式サイトおよび大学公式サイトに詳細を掲載している。さらに、LMS の新入生専用コースに動画を投稿するなどして、プログラムに関する情報を得やすいようにしている。ND 教育センター会議においては、各学科の構成員を通じて、学生に呼びかけるよう依頼を行うなどにより周知している。なお、すでに「本プログラム」関連科目を履修しながら「情報活用力プログラム」を登録（UNIPA 機能の資格申請で確認）していない学生も多いため、あらためて登録を促すことにより、履修者数を向上させる。

サポート体制については、必修科目を中心とした授業の資料等を LMS に掲載し、掲示板などで質問や議論ができる体制を取っている。対面では、専任教員を中心にオフィスアワーを設け、相談に対応している。情報技術に関するサポートについてはシステム管理課において、プログラムに関する履修相談については ND 教育センター事務室で受け付けている。加えて、プログラム必修科目や情報技術を中心とする科目については、2022 年度に新設したスチューデント・アシスタントによるサポートも行っている。また、主要科目担当教員（専任・非常勤）によるワーキングを定期的実施し、履修生の情報共有や学修支援について検討している。